

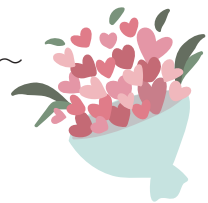
ホットニュース Hot News

◎渥美図書館は開館30周年を迎えます

今年、渥美図書館は開館30周年を迎えます。皆様のご愛好に感謝を込めて、6月から12月まで、記念のイベントを開催します。私たちと一緒に、30周年をお祝いしましょう！

・ありがとうセレモニー

【日時】6月8日(土) 午前11時～
 【場所】渥美図書館
 おはなしコーナー



・記念トーク

「渥美物語～3000年前のみよこから～」

豊かな自然に恵まれ、昔から人々が暮らしを営んできた渥美をふりかえります。

【日時】6月9日(日) 午後1時30分～

【場所】渥美図書館2階

【講師】小川雅魚氏(作家)

【定員】30人(先着順)

【申込】直接または
 電話、QRにて



▲申込 ▲30周年記念ロゴ



ぼくはくま、特技はせん切りやねん!!!
 くま/著 ワン・パブリッシング

大阪府在住で料理好きのくまのぬいぐるみ「くまくん」が、様々な料理を紹介しています。コテコテの関西弁が良いです！



君に伝えたい「本当にやりたいこと」の見つけかた
 池上彰/監修 KADOKAWA

将来の夢やなりたい職業はありますか？まだ見つからない人は「好きなこと」「やりたいこと」を探してみよう。

History Inquiry Club
歴史探訪クラブ 其の240

文化財課(博物館) ☎22-1720
 吉胡貝塚資料館 ☎22-8060
 渥美郷土資料館 ☎33-1127

博物館HP 博物館Instagram

800年前の山茶碗の魅力

平安時代終わりから鎌倉時代の愛知・岐阜・静岡県
 の窯で焼かれた山茶碗は、どんぶりくらい
 のこの時代を代表する焼き物です。名前の由来は「山に落ちて
 いる茶碗」、というざっくりしたものです。田原でも焼かれて
 おり「ガンザラ」と呼ばれ、山を開墾する
 と出てくる耕作の厄介者でした。

山茶碗は当時の人の日常的な食器で時には調理具、また食
 事以外でも使われていました。この地方の「普通」の焼き物
 なのですが、お墓に供えられたり、お祭りの道具としても使
 われた、本当に不思議な焼き物です。



▲山で見かける「山茶碗」(赤羽根町)

さて、この不思議な焼き物は現代でも大活躍しています。考古学を
 はじめとする歴史研究では、その形の変化の比較で時代を測る物
 差しとして重要な研究対

象となっています。古い焼き物の愛好家にとって今の焼き物にはない形と質感が鑑賞の対象となり、普段のお茶や食器、花器としても愉しんでいる人も多いためです。さらにこの素朴な造形に惹かれ、形、質感を何とか復元しようと陶芸家たちが挑んでいます、どうしても超えることができないようです。

当時の職人はこんなことを予想したでしょうか？

田原市博物館では「山茶碗」の魅力をさまざまな分野から紹介する展示を行います。

◆テーマ展

「山茶碗」てナンダ

6月1日(土)～7月21日(日)



▲山茶碗で楽しむ抹茶



▲田原の窯跡から見つかった山茶碗 平安時代(左) 鎌倉時代(右) (学芸員 増山禎之)